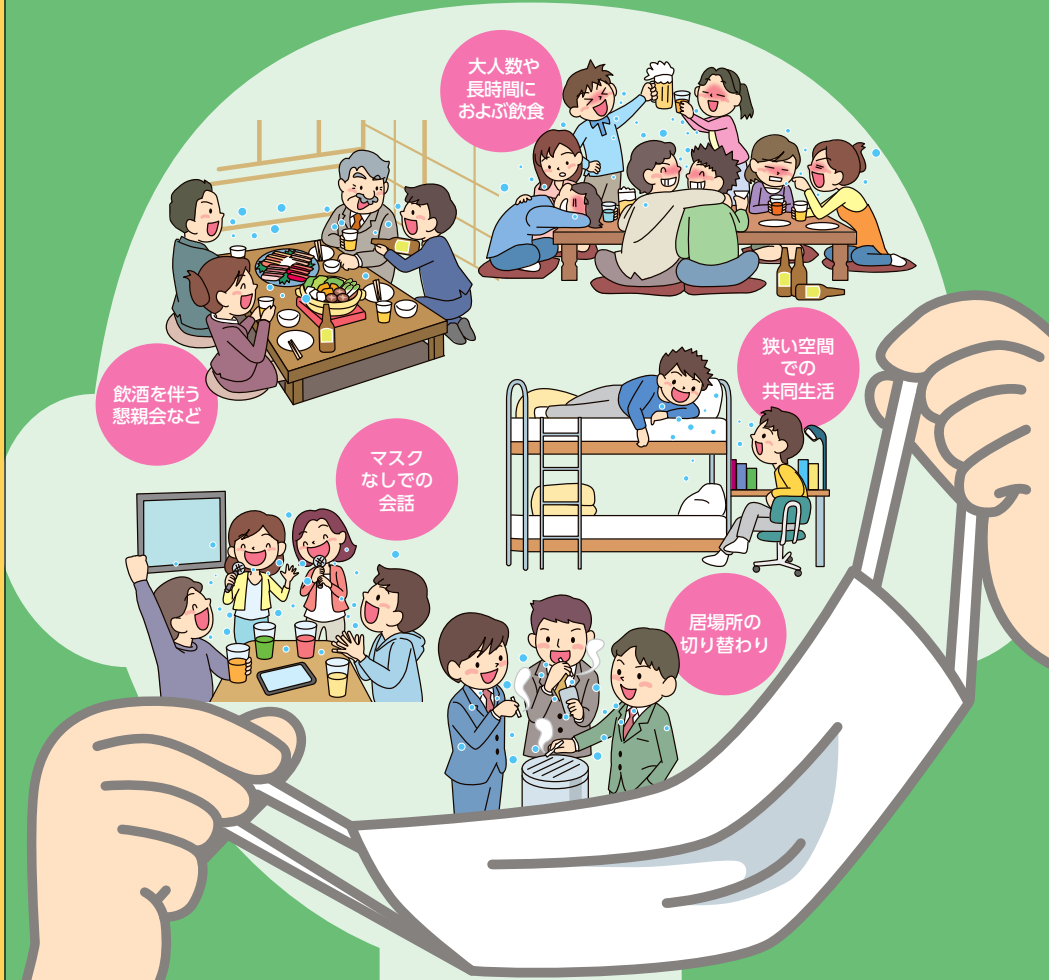


# いつでもマスク 気をつけたい「5つの場面」



最新の情報や詳しい内容については弘前大学の Web サイト  
[www.hirosaki-u.ac.jp/46721.html](http://www.hirosaki-u.ac.jp/46721.html)  
をご覧ください。

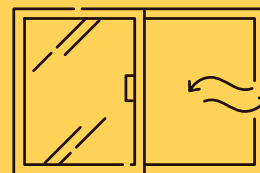


English information is available on  
[www.hirosaki-u.ac.jp/en/3262.html](http://www.hirosaki-u.ac.jp/en/3262.html)



## 新型コロナウイルス感染症を正しく知って 大学生生活の維持につなげましょう

令和4年4月



弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

## はじめに

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種を進めているものの、オミクロン株に加えて、さらに感染力が強いBA.2株の感染も報告されており、依然として感染者数も多く、引き続き感染対策が必要な状況です。

こうした中、感染を予防し、大学の授業などを含む学生生活への影響を最小限にするため、改めて学生の皆さんとして知っておくべきポイントをまとめました。

## 1 感染と症状

現在流行しているオミクロン株の症状は咽頭痛、咳、発熱などで、風邪やインフルエンザと同様の症状であるため、症状から新型コロナウイルス感染症を診断することは困難です。また、感染力も強く、若年者での感染例も多くなっており、本人が気づかないうちに周囲に感染を広めてしまう可能性があります。以前の変異株と比べて軽症化しているとされていますが、持病のある方などは重症化のリスクがあり、引き続き感染対策が必要です。

## 2 感染予防の徹底

### ① マスクを必ず着用(できれば不織布のマスク)

飛沫による感染が最も多いとされます。マスクの着用は、他人にうつさないためにも大切です。花粉症などによりくしゃみが出るような時には、マスクの着用やティッシュで覆うなど咳エチケットにも心がけてください。



### ② 体温管理・手指消毒

大学の建物の出入り口には、体温モニターと手指消毒スプレーが設置されています。大学での感染拡大を防ぐためには、建物内にウイルスを持ち込まないことが大切です。寮や自宅なども含めて、日頃の体温管理とともに手指消毒に努めてください。また、体調が普段と違う、風邪っぽいといった症状がある場合には登校せず様子を見て発熱(37.5℃以上)などの症状が出た場合には所属学部・研究科の教(学)務担当に報告してください。

### ③ 3密の回避・飲食などにおける注意

狭い空間、多くの人、近い距離の3つの密が感染発生の危険性を高めます。そうした3密空間でマスクをしないことが最も感染の危険性が高いと言えます。例えば、カラオケ、ライブハウスなどのほか、食事の際にはマスクを取ることもあり、お酒を飲むことによって気が緩み大きな声になるといったことから、飲食の場での注意も大切です。特に大人数での飲み会、コンパなどの場を控えることや、少人数の場であっても飲み過ぎないように心がけてください。自宅やアパートなどでの飲食であっても注意が必要です。また、いつもと体調が違う場合には参加を控えてください。さらにアルバイトについても、感染対策(従業員がマスクをしているか、換気に気を配っているか、3密になっていないかなど)が徹底されているところを選ぶように気をつけてください。



## 3 大学生活を維持するために

弘前大学では、大学生活を維持するために、本人や同居者の方に発熱などの風邪症状がある場合や濃厚接触者になった場合などに登校制限などの基準を設けており、安心な環境で対面授業が実施できるようにしています。

こうした対応を迅速・確実に行っていくためには、学生の皆さんを含めて、日頃から行動を思い出せるよう経過観察日誌を毎日記入し、特に、感染の機会となりうる会食、他の地域への移動などの機会やマスクの着用の有無などについてメモをしておくなど心がけてください。喉の痛みや咳、発熱などいつもと体調が違う時には登校せず、自宅待機や医療機関で受診してください。早めの連絡が対面授業をはじめとする大学生活の維持につながります。

なお、国内特定地域へ移動する際は、所属学部・研究科の教(学)務担当へ国内特定地域移動届を忘れずに提出してください。

